

科目分類	看護専門科目 応用看護	開講時期	2・3年	前期		
科目名	地域医療連携システム論					
選択/必修	選択	単位数(時間数)	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	井階 友貴・木村 輝明・中村 伸一					
メールアドレス	教務学生課を窓口とする	オフィスアワー	授業の前後			

授業目的	地域社会の中で住民を中心とした医療・看護・介護といった専門領域が連携して、集団および個人の健康課題に取り組んでいくシステムの実際について学ぶ。
授業概要	わが国における地域医療の実状および福井県・嶺南地域、敦賀市の現況を比較しながら理解する。また、地域医療の現況を踏まえた課題の抽出と、専門領域の活動範囲のそれぞれの役割を明らかにした上で、効率的に運用していくための方策について考える。
授業計画	<p>第1回 対象のニーズからみた地域医療活動の実際(中村) 第2回 医師の立場からみた在宅看護(訪問看護)への期待(中村) 第3回 在宅医療・訪問看護・介護の協働(木村) 第4回 社会および医療制度の変革からみた地域医療(井階) 第5回 嶺南地域における在宅医療の現状と課題(木村) 第6回 医療機能分化と包括医療・療養支援システム(井階) 第7回 福井県における地域医療の現状と課題(井階) 第8回 地域医療の充実にむけての連携システムの構築(井階)</p> <p>第1回・第2回 中村 伸一 4/16(土)1-2限 第3回・第5回 木村 輝明 4/20・5/18 いずれも(水)4限 第4回・第6-8回 井階 友貴 4/20・5/18・6/15・7/20 いずれも(水)5限</p>
教材 参考文献等	参考書：在宅医療と訪問看護・介護のコラボレーション(株)オーム社
成績評価 基準・方法	それぞれの担当の教員が課題を出し、総合評価する。
履修要件	特になし
留意事項 その他	本科目を修得していないと、在宅看護学実習Ⅱは履修できません。
実務経験のある 教員の教育方法	地域の診療医の立場から地域連携の中心としての活動を活かして、地域連携システム論の実際と課題等について講義を行う。